

第2章 天理市の概況と課題

Ⅰ 天理市の概況

(1) 広域的な位置づけ

天理市(以下、「本市」という。)は、奈良県北部の大和平野中央東部及び大和高原中央西部にまたがる大阪市の中心から 30km 圏の位置にあり、市域を東西に西名阪自動車道及び名阪国道が貫く広域的な交通の要衝となっています。

周囲は、北を奈良市と大和郡山市、西を川西町・三宅町・田原本町、南を桜井市、東を奈良市(旧都祁村)に接しています。市域の広がり、東西 14.9km、南北 10.6km にわたり、面積は 86.37k m²を有しています。

大阪から電車や車で 1 時間程度の距離であることから市街地が広がっている一方で、山の辺の道、石上神宮、天理教関連施設などがあります。このように本市は、都市的な性格のみならず、自然、歴史、宗教など多彩な性格を持ち合わせています。

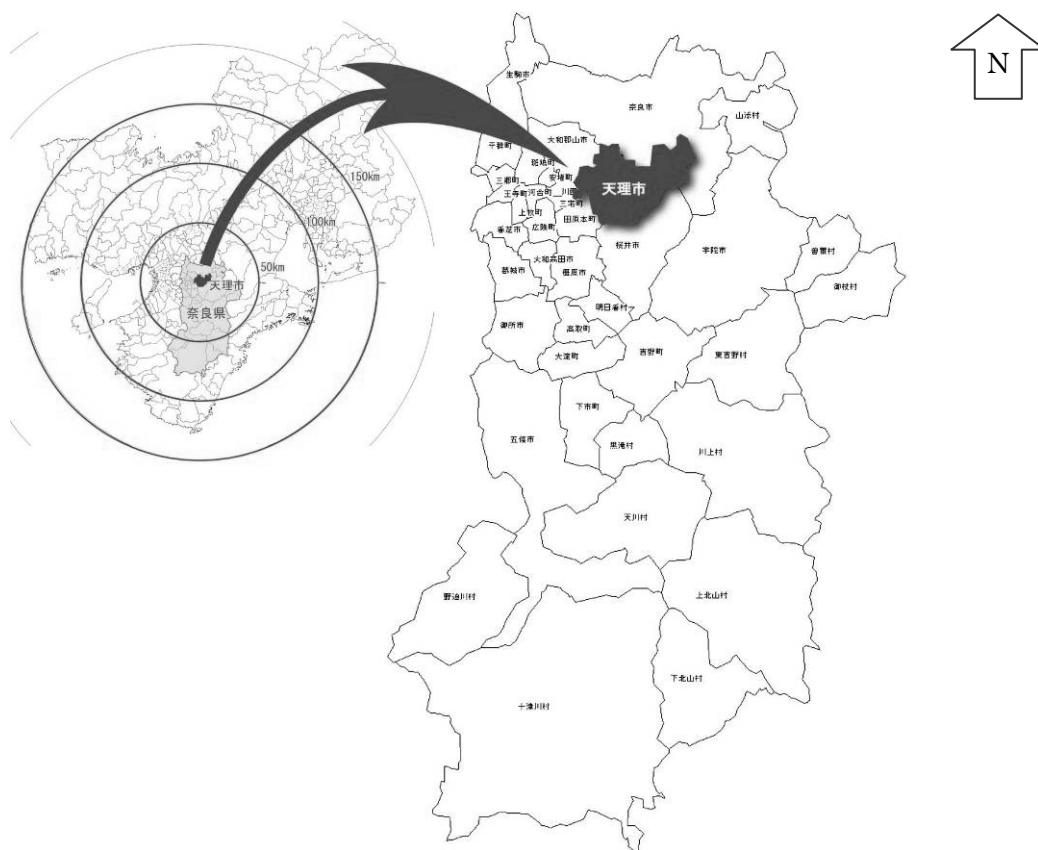


図 天理市の位置

(2)自然的条件

1) 地形

市域の西部に広がる大和平野に位置する平野部、奈良盆地東縁周辺の山麓斜面地、市域東部にあたる大和高原山間部の3つの地域に区分されます。

また、古代より「大和青垣」とうたわれた美しい緑に恵まれ、東部の山間部を中心に豊かな自然が残っており、その一部は大和青垣国定公園に指定されています。

2) 気候

盆地がもつ内陸性気候により、年間を通じての寒暖の差が大きいです。総じて温和な気候です。

降水量は、梅雨期と台風期に多いものの、全国に比べ総体的には少ないです。

3) 自然災害

天理市ハザードマップにより、地震発生時による揺れやすさが予測されています。奈良盆地東縁断層帯で大きな地震が発生した場合、奈良盆地東縁断層帯周辺の区域では震度7、それ以外の区域でも震度6強の揺れが予想され、多くの市街地は液状化の危険度が極めて高い区域になっています。

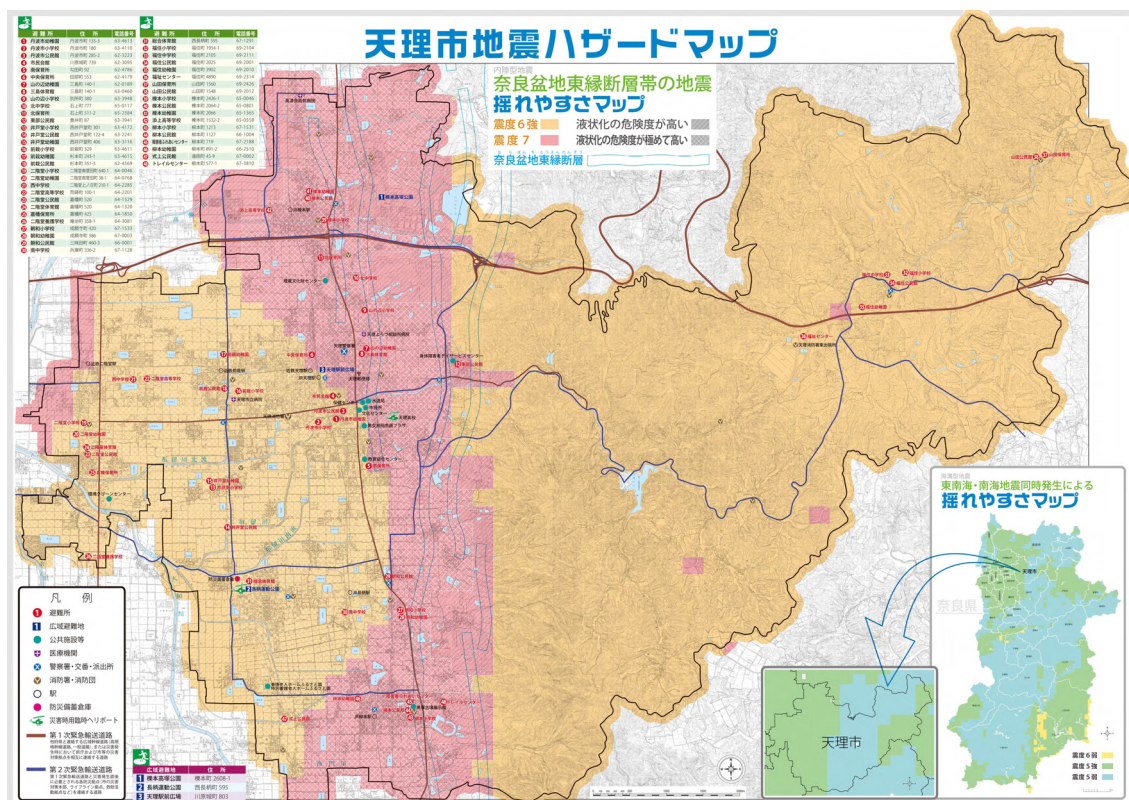


図 地震ハザードマップ

[illegible]

10

(3)社会的条件

1)人口及び世帯数

①人口の推移

本市の人口は69,178人（平成22年国勢調査）であり、平成7年をピークに、人口は減少しています。それに比べ世帯数は少しずつ増加傾向にあり、核家族化が顕著に進んでいます。

また、65歳以上の老年人口割合は、増加傾向にありますが平成22年時点では約21%であり、全国平均(約23%)および奈良県平均(約24%)に比べると低い状況にあります。

表 人口・世帯数の推移 (単位:人、世帯)

	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
人 口	64,894	69,129	68,815	74,188	72,741	71,152	69,178
世 帯 数	17,448	19,874	20,978	24,441	24,766	24,916	25,396

資料：国勢調査

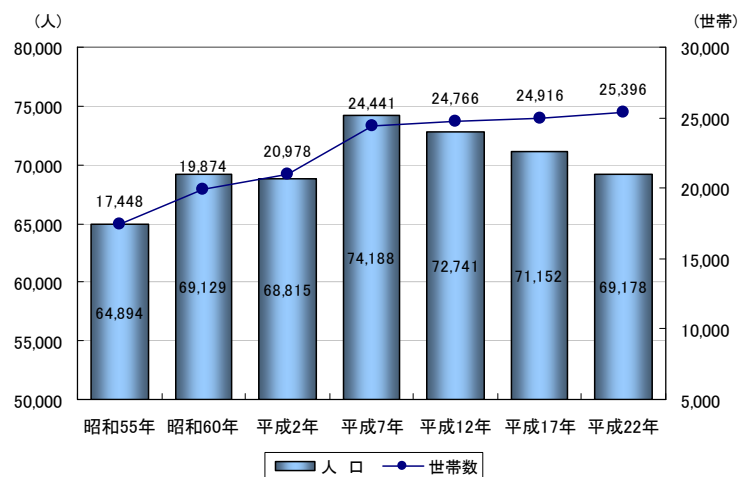


図 人口・世帯数の推移

表 年齢階層別人口の推移 (単位:人)

		平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
0 歳～14 歳	人口	11,444	11,253	10,892	10,129	9,323
	割合	16.6%	15.2%	15.0%	14.2%	13.5%
15 歳～64 歳	人口	49,055	52,685	50,319	48,010	44,793
	割合	71.3%	71.0%	69.2%	67.5%	64.8%
65 歳以上	人口	8,280	10,180	11,514	12,984	14,364
	割合	12.0%	13.7%	15.8%	18.2%	20.8%
年齢不詳	人口	36	70	16	29	698
	割合	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	1.0%
合計		68,815	74,188	72,741	71,152	69,178

資料：国勢調査

②今後の人口

国立社会保障・人口問題研究所による「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」によると、本市の人口は、平成7年から減少傾向に転じており、現状の傾向で人口減少が続けば、平成47年には約57,413人になると予測されています。また、65歳以上の老年人口割合については、平成32年には約27%、さらに平成47年には約32%となり、全国に比べて速いスピードで高齢化が進行すると予測されています。

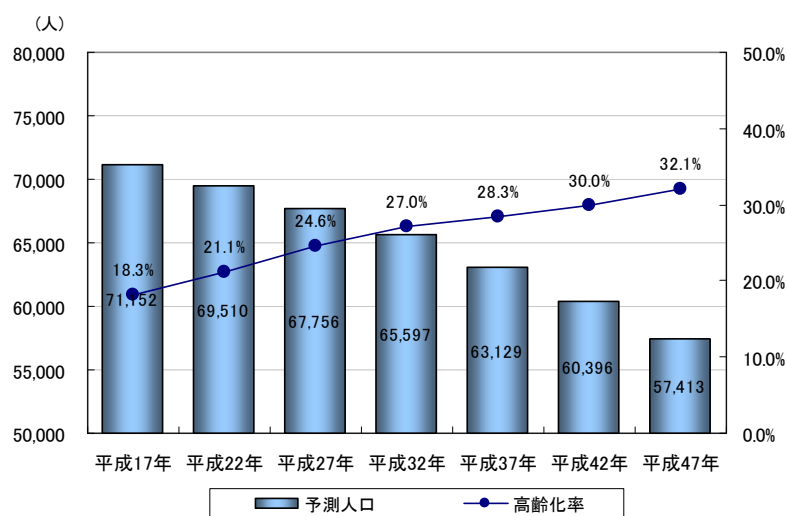


図 将来人口の推計(国立社会保障・人口問題研究所資料)

2) 産業

①産業別人口の推移

産業別人口は、第3次産業の就業人口に占める割合が最も高く、増加傾向にあります。また、第1次産業、第2次産業は、ともに減少傾向にあります。

表 産業別就業者数の推移

		平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
第1次産業	就業者数(人)	2,761	2,503	2,162	2,025	1,482
	割合(%)	8.7	7.1	6.3	6.3	5.2
第2次産業	就業者数(人)	9,088	10,690	9,275	7,493	5,888
	割合(%)	28.6	30.1	27.2	23.4	20.7
第3次産業	就業者数(人)	19,915	22,278	22,642	22,464	21,011
	割合(%)	62.7	62.8	66.4	70.2	74.0
分類不能	就業者数(人)	53	128	258	520	1,372
合 計		31,817	35,599	34,337	32,502	29,753

※割合は分類不能を除いた総数を 100%とする

資料：国勢調査

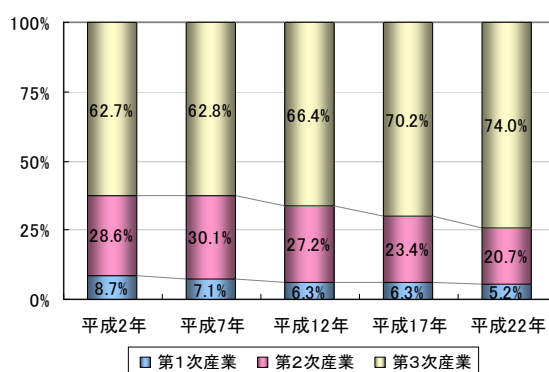


図 産業別人口の推移

②事業所数・従業者数の推移

事業所数・従業者数は、増加減少を繰り返しています。事業所規模別には、事業所数は従業員1～4人の事業所が最も多く、従業者数は従業員30人以上の事業所が最も多く、全体的な傾向と同様、増加減少を繰り返しています。

表 事業所数・従業者数の推移

(単位:人)

事業所規模	平成 11 年		平成 13 年		平成 16 年		平成 18 年		平成 21 年	
	事業所	従業者	事業所	従業者	事業所	従業者	事業所	従業者	事業所	従業者
0 人	946	1,591	874	1,615	878	1,591	973	1,728	944	1,817
1～4 人	1,016	3,601	1,153	4,087	1,001	3,677	1,041	3,670	1,037	3,883
5～9 人	425	3,250	446	3,429	392	3,129	455	3,566	410	3,299
10～19 人	229	3,474	258	3,837	249	3,750	280	4,059	285	4,277
20～29 人	88	2,220	90	2,316	86	2,199	93	2,337	89	2,312
30 人以上	116	15,429	128	15,759	121	14,866	141	16,368	148	15,204
合 計	2,820	29,565	2,949	31,043	2,727	29,212	2,983	31,728	2,913	30,792

資料：事業所・企業統計調査、経済センサス(H21)

③年間販売額・製造品出荷額の推移

商業では、卸売業・小売業の商店数は減少していますが、年間販売額はやや増加傾向にあります。また、工業では、事業所数、工業製造品出荷額等とともに、近年著しい減少傾向にあります。

表 卸売業・小売業の商店数及び年間販売額の推移 (単位：万円)

	平成 9 年	平成 11 年	平成 14 年	平成 16 年	平成 19 年
商店数	920	960	897	870	824
年間商品販売額	10,619,883	12,416,633	11,514,941	12,142,100	12,930,508

資料：商業統計調査

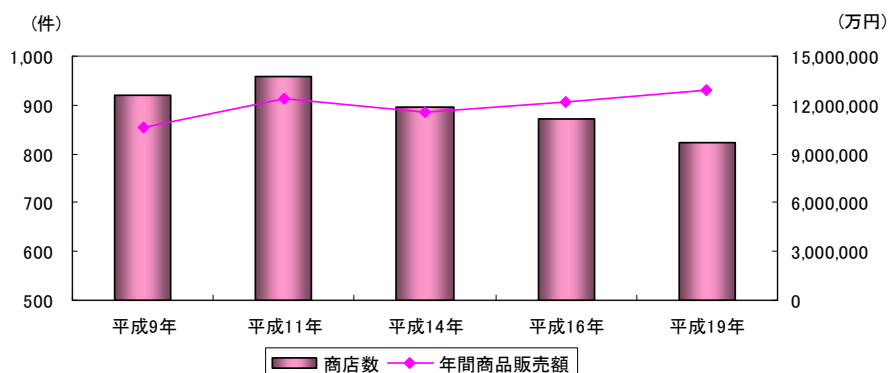


図 商店数及び年間販売額の推移

表 事業所数及び製造品出荷額等の推移 (単位：百万円)

	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
事業所数	145	152	146	134	140	138	123
製造品出荷額等	17,420	19,828	18,391	17,309	14,902	13,095	8,652

資料：工業統計調査

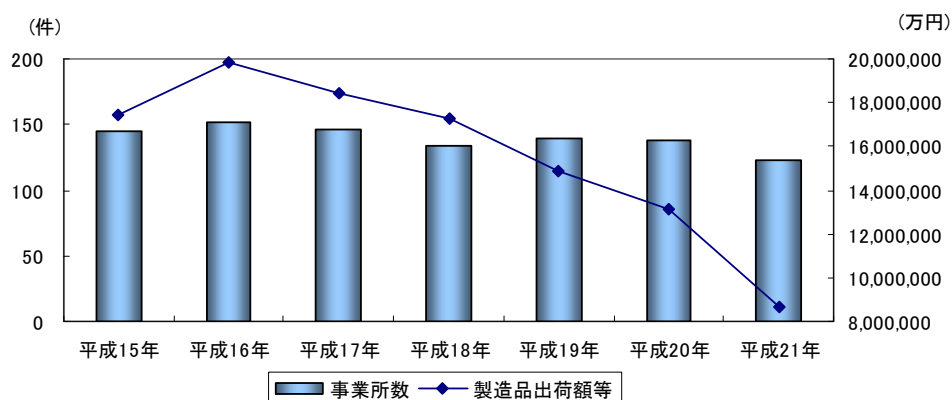


図 事業所数及び製造品出荷額等の推移

3) 交通体系及び人の動き

① 交通網

a. 道路網

本市は、市域を東西に西名阪自動車道及び名阪国道が貫いており、広域的な交通の要衝となっています。また、市内には一般国道が24号、25号、169号の3路線、県道が主要地方道5路線、一般県道10路線あり、これらが平地部においてはグリッド状に配置されています。

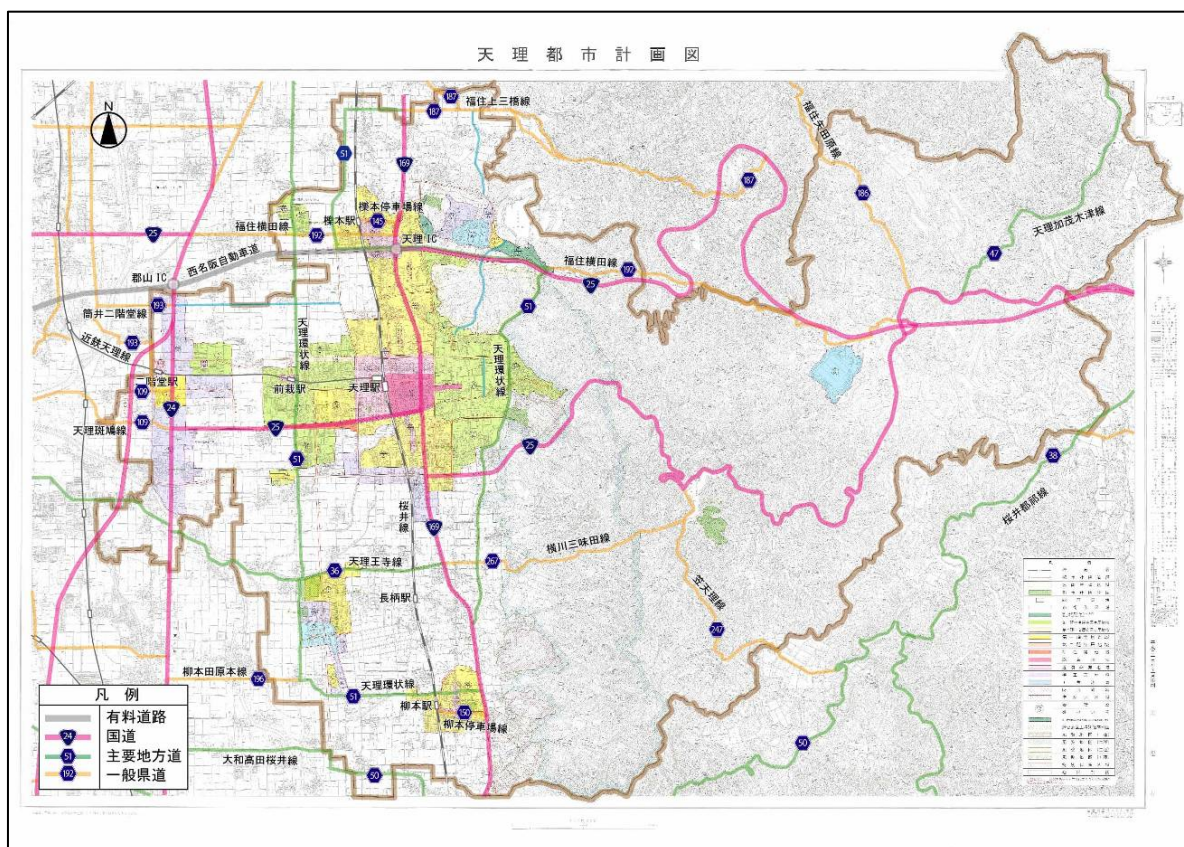


図 道路交通網図

b. 鉄道

鉄道は、市街地東部に JR 桜井線が南北に、市街地中央部から西部にかけて近鉄天理線が東西に通っています。JR 桜井線には天理駅のほか、櫛本駅、長柄駅、柳本駅があり、近鉄天理線には、JR と連絡する天理駅のほか、二階堂駅、前栽駅があります。

鉄道の乗客数は、近鉄天理線の始発駅である近鉄天理駅が最も多く、JR と合わせて主要な駅となっています。乗客数の推移としては、天理駅では若干の減少傾向がみられますが、その他の駅では概ね横ばいの状況となっています。

なお、乗客数に降車した客数を加えた乗降客数（平成 22 年 11 月 9 日）は、近鉄天理駅で 10,779 人／日、近鉄前栽駅で 3,887 人／日、近鉄二階堂駅で 4,065 人／日と 3,000 人／日を超えています。

表 鉄道の乗客数の推移（1 日当たり平均）（単位：人）

		平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年
JR 西日本	天理駅	2,857	2,948	2,852	2,829	2,769	2,757
	櫛本駅	980	993	973	950	963	965
	長柄駅	622	613	626	621	604	613
	柳本駅	753	770	753	767	755	751
近鉄	天理駅	7,660	7,737	7,456	7,383	7,046	7,139
	前栽駅	1,231	1,268	1,343	1,376	1,395	1,468
	二階堂駅	1,985	1,956	1,953	1,965	1,918	1,921

資料：JR 西日本、近畿日本鉄道

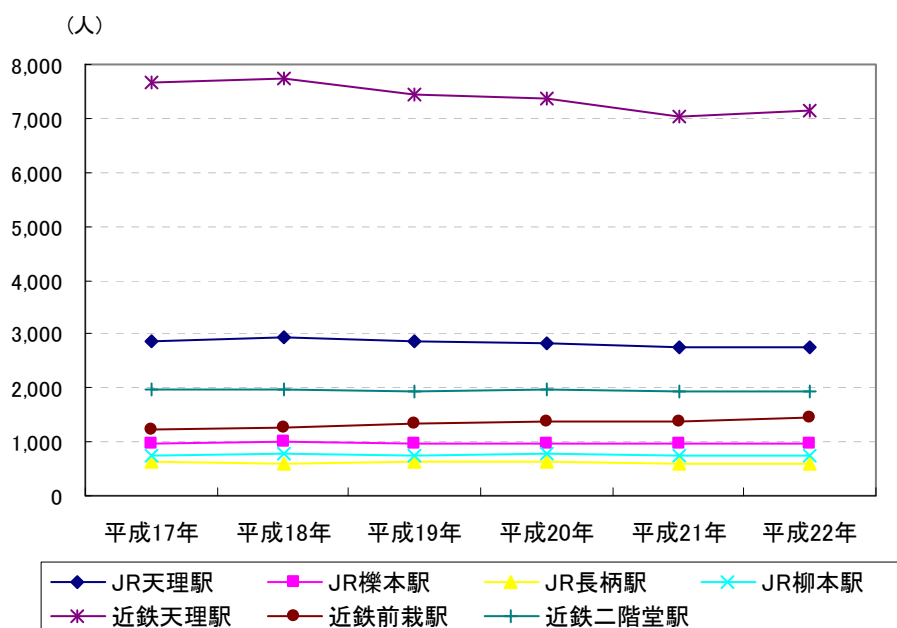


図 鉄道の乗客数の推移（1 日当たり平均）

c. バス

本市では、路線バスが天理駅を中心に運行しており、国道 169 号運行路線、天理駅から国道 25 号を経由し東部の山間部を運行している路線、名阪国道を運行している路線などがあります。

天理駅から西側はこれまでバスの空白地でしたが、天理市地域公共交通総合連携計画(H20.4)の策定により、平成 21 年 1 月からコミュニティバス、平成 24 年 4 月からデマンドタクシーの運行が開始されています。

②人の動き

天理市に居住している就業者・通学者は約 3.6 万人であり、うち天理市内での就業者・通学者は約 2.1 万人と、58.2%をしめています。市外への就業・通学者は、奈良県内では奈良市が 10.7%と多く、他府県では大阪府が 7.4%と多くなっています。

表 就業・通学者の状況 (単位：人、%)

	奈良県				他府県			流出人口計 (不詳を除く)	総人口
	天理市	奈良市	大和郡 山市	他の市 町村	大阪府	京都府	その他 の県		
就業者	17,138	3,199	2,088	3,445	2,096	377	334	11,539	29,753
通学者	3,881	678	139	569	561	296	98	2,341	6,373
計	21,019	3,877	2,227	4,014	2,657	673	432	13,880	36,126
割合	58.2	10.7	6.2	11.1	7.4	1.9	1.2	38.4	100.0

※15 歳未満の通学者を除く

資料：国勢調査(H22)

4) 公共公益施設

公共公益施設は、市内全体に様々な施設が分散して立地していますが、概ね天理駅周辺に主要な施設が集中しています。

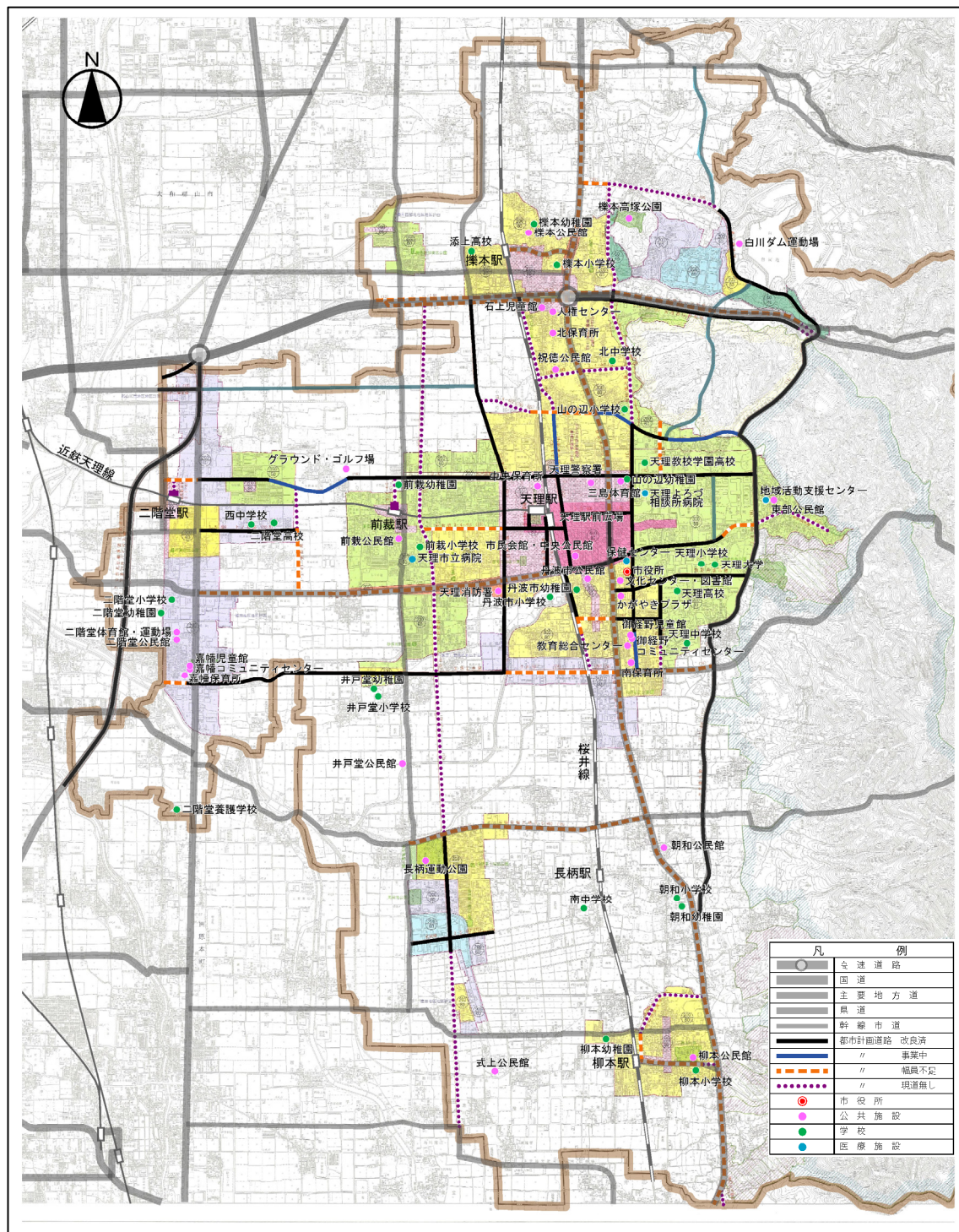


図 公共公益施設の分布状況

5) 観光資源

天理市は天理教とともに発展してきたまちであり、市内には天理教教会本部をはじめとした宗教施設が多く所在しています。また、日本最古ともいわれる山の辺の道が通じ、石上神宮、長岳寺、大和神社など由緒ある神社仏閣や大和・柳本古墳群など古代国家発祥の地として、数々の文化財や史跡が散在しています。

平成 18 年から平成 23 年の山の辺の道観光入込客数の推移をみると、平城遷都 1300 年祭が開催された平成 22 年を除き、概ね横ばいで推移しています。

表 山の辺の道観光入込客数の推移 (単位:人)

	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
山の辺の道 観光入込客数	150,000	160,000	150,000	160,000	220,000	170,000

資料：天理市観光課

主な観光地の月別観光入込客数をみると、概ね 4 月から 5 月までと、10 月から 11 月までが観光のピークとなっています。「石上神宮」や「大和神社」については、初詣の参拝客によって 1 月がピークになっています。

表 主な観光地の月別観光入込客数(H23 年) (単位:人)

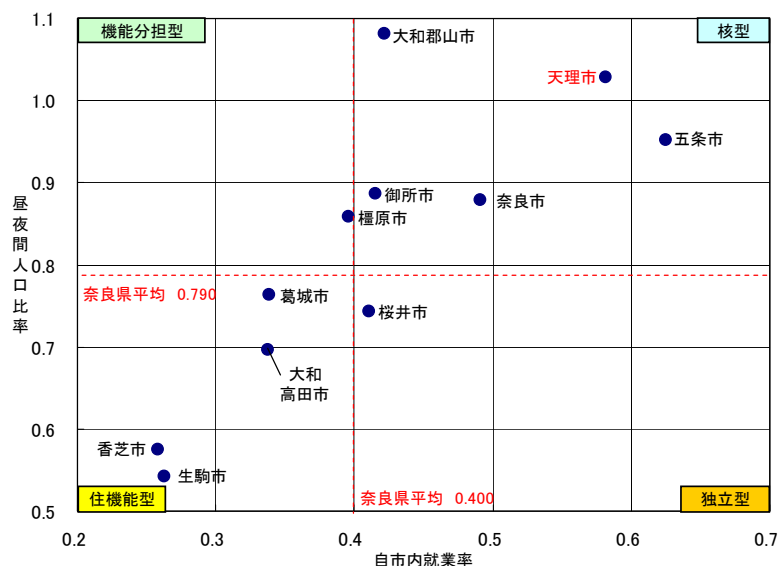
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
天理市 トレイル センター	5,597	6,313	7,441	8,976	11,759	3,422	2,205	2,509	5,884	12,495	13,271	4,393	84,265
天理市観 光案内所	554	423	504	650	579	432	394	334	457	624	551	386	5,888
黒塚古墳 展示館	680	1,287	2,686	2,468	4,849	1,316	950	946	1,340	2,967	2,668	692	22,849
天理 参考館	3,123	1,289	1,062	2,077	2,436	1,857	2,621	2,551	944	1,703	2,538	822	23,023
石上神宮	187,967	36,216	37,966	48,522	44,552	32,810	31,514	35,800	34,600	43,100	49,322	34,260	616,629
大和神社	13,000	2,300	3,200	8,000	2,400	1,400	2,000	2,100	1,900	2,500	3,200	2,400	44,400
長岳寺	1,510	1,366	2,310	5,120	7,766	1,866	1,284	1,109	4,811	5,367	9,966	2,410	44,885

資料：天理市観光課

なお、天理教の大祭や行事の時には、全国・海外から多くの参拝者が教会本部のある「おぢば」を訪れています。特に、毎年、7 月に開催される「こどもおぢばがえり」には、全国各地から約 25 万人の参加者があります。

6) 本市の都市性格分類

奈良県内の各都市について、都市性格分類を実施すると下図のようになります。本市は、市内で働く人が多く、市外からの就業・通学者も含めた昼間の人口が多い「核型」の都市であり、生活圏における中心都市としての役割を持っているといえます。



核型：市内で働く人が多く、就業、通学者を含めた昼間の人口が多い都市であり、生活圏における中心都市として機能
独立型：市内で働く人は多いが、昼間の人口は多くない都市であり、1都市である程度独立した生活圏を形成
住機能型：市内で働く人が少なく、夜間の人口が多い都市であり、周辺都市などのベッドタウンとして機能
機能分担型：市内で働く人は少ないが、昼間の人口が多い都市であり、職などの機能に特化

図 奈良県内の都市性格分類(H22 国勢調査をもとに作成)

(4)土地利用と都市計画等

1) 土地利用

①土地利用の現状

非課税土地を除く土地利用状況は、市域の約42%が農地、約35%が山林、約15%が宅地です。都市的な土地利用である市街地は、天理駅を中心とする鉄道駅周辺及び幹線道路沿いに点在して形成されています。

表 土地利用状況 (H23)

区分	面積(ha)	構成比(%)
田畑	2,098	41.8%
山林	1,750	34.9%
池沼	4	0.1%
宅地	746	14.9%
その他	418	8.3%
計	5,016	100.0%

注) 「市税の概要」による数値であり、非課税土地は含まない。

資料：天理市税務課

②市街化の動向

本市の人口集中地区(DID)については、人口、面積ともに増加傾向にありましたが、近年は横ばいの状態になっています。人口密度は、人口集中地区の面積増加に伴い減少傾向にあります。

新築家屋の棟数は、全体として減少傾向にあります。

表 人口集中地区の人口と面積の推移

	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
人口(人)	22,817	23,887	27,573	28,829	28,477	27,493
面積(km ²)	3.9	4.5	5.1	5.4	5.5	5.6
人口密度 (人/km ²)	5,851	5,308	5,406	5,339	5,178	4,909

資料：国勢調査

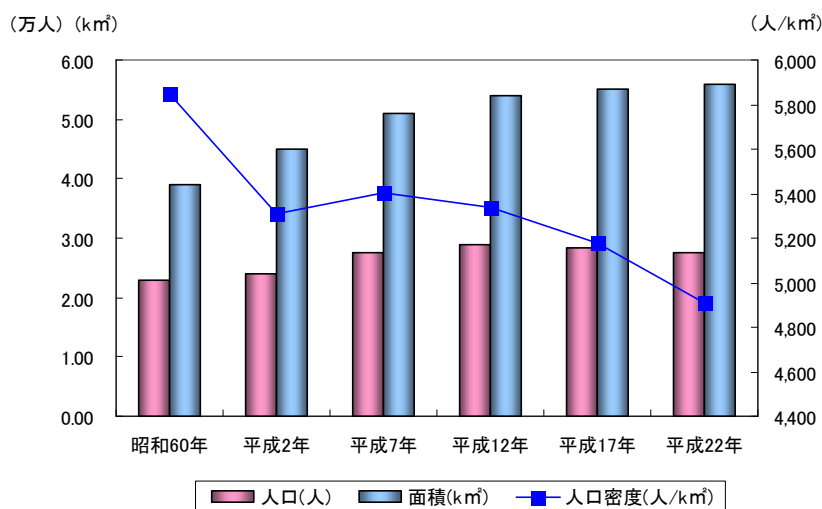


図 人口集中地区(DID)の推移

表 新築家屋の推移

		平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
木造	棟数	288	279	240	230	215	200	154
	床面積(m ²)	35,923	34,010	26,962	25,805	22,958	24,423	18,348
木造 以外	棟数	102	107	89	75	58	48	50
	床面積(m ²)	28,032	27,735	17,373	35,409	9,672	8,133	9,774
総数	棟数	390	386	329	305	273	248	204
	床面積(m ²)	63,955	61,745	44,335	61,214	32,630	32,556	28,122

資料：天理市税務課

2) 都市計画等

①都市計画の状況

天理市の主な都市計画の決定状況は以下のとおりです。

a. 土地利用

都市計画区域

市域全体が都市計画区域に指定されています。

表 都市計画区域の指定状況

区域名	範囲	面積(ha)	区域区分 決定年月日	区域区分 最終決定 年月日	都 市 計 画 区 域	
					市街化区域	市街化調整区域
					面積(ha)	面積(ha)
天理市	行政区域 全域	8,637.0	S45.12.28	H23.5.10	1,226.9	7,410.1

大和都市計画区域の一部

資料：天理市まちづくり計画課

用途地域

駅前を中心に、商業系用途地域が指定され、その周囲に住居系用途地域が指定されています。

表 用途地域の指定状況

規制区分	面積(ha)	構成比(%)	建ぺい率	容積率
第1種低層住居専用地域	19.7	1.60%	4/10	6/10
第1種中高層住居専用地域	362.7	29.56%	5/10	15/10
			6/10	20/10
			6/10	30/10
第2種中高層住居専用地域	6.1	0.50%	6/10	20/10
第1種住居地域	410.6	33.47%	6/10	20/10
			6/10	30/10
第2種住居地域	1.0	0.08%	6/10	30/10
準住居地域	13.2	1.08%	6/10	20/10
			6/10	30/10
近隣商業地域	87.0	7.09%	8/10	30/10
商業地域	37.4	3.05%	8/10	40/10
準工業地域	222.7	18.15%	6/10	20/10
工業地域	66.5	5.42%	6/10	20/10
計	1,226.9	100.00%		

資料：天理市まちづくり計画課

防火地域

商業地域が防火地域に、近隣商業地域が準防火地域に指定されています。

表 防火地域指定状況

	面積(ha)	告示年月日
防火地域	37.4	H13.5.15
準防火地域	87.0	H13.5.15

資料：天理市まちづくり計画課

風致地区

本市の中央部にあたる奈良盆地東縁の山麓斜面地に山の辺風致地区が指定されており、本市の特徴的な歴史的風致の保全を図っています。

表 風致地区

種別	名称	決定面積 (ha)	告示年月日	区 域
第1種	山の辺風致地区	151.9	H13.4.1	内馬場町、布留町、田町、杣之内町、中山町、柳本町及び渋谷町の各一部
第2種	山の辺風致地区	1,066.9	H13.4.1	石上町、豊田町、豊井町、滝本町、内馬場町、布留町、田町、杣之内町、園原町、佐保庄町、中山町、萱生町、竹之内町、乙木町、柳本町及び渋谷町の各一部
第3種	山の辺風致地区	118.6	H13.4.1	櫛本町、石上町、豊田町及び別所町の各一部
第5種	山の辺風致地区	0.6	H13.4.1	石上町の一部

資料：天理市まちづくり計画課

※奈良県風致地区条例（昭和45年3月28日奈良県条例第43号）に基づき定められたものである。

生産緑地地区

表 生産緑地地区

	決定面積(ha)	地区数	告示年月日
生産緑地地区	66.24	315	H24.12.11

資料：天理市まちづくり計画課

歴史的風土特別保存地区

表 歴史的風土特別保存地区

歴史的風土保存区域				歴史的風土特別保存地区		
名称	地区の名称	指定面積 (ha)	指定 年月日	名 称	決定面積 (ha)	決定 年月日
天理、橿原市及び桜井市歴史的風土保存区域	石上三輪地区	1,060.0	S42.12.15	石上神宮地区	29.7	S43.4.27
				崇神景行天皇陵地区	52.5	S43.4.27

資料：H22 都市計画現況調査

地区計画

表 地区計画

地区名	面積 (ha)	方針	決定の概要		告示 年月日
			地区 施設	建築物等に関する事項	
遠田地区	4.0	良好な福祉環境の形成	—	用途、高さ、色彩 等	H23.5.10
郡山 IC 南地区	1.1	産業立地の推進	—	用途、高さ、色彩 等	H23.5.10
稲葉地区	3.9	商業・業務施設の誘導	道路	用途、高さ、色彩 等	H23.5.10
東井戸堂地区	5.8	商業・業務系施設等の集積を図り、良好な都市環境を形成	—	用途	H13.5.15
櫛本西部北地区	5.2	良好な市街地環境の形成	道路	敷地面積の最低限度	H13.5.15

資料：天理市まちづくり計画課

b. 都市施設

道路

本市の都市計画道路は点在する市街化区域をネットワークする形でグリッド状に指定されていますが、未整備区間が多く、十分なネットワークが確保されていない状況にあります。特に、奈良県の第1次緊急輸送道路に指定されている国道169号および国道25号が幅員不足の状況にあります。

表 都市計画道路(総括)

	自動車専用道路	幹線街路	区画街路	特殊街路	合計(km)
計画延長	2.65	75.32	—	—	77.97
改良済延長	2.50	39.01	—	—	41.51
概成済延長	—	14.57	—	—	14.57

資料：H22 都市計画現況調査

表 都市計画道路

番号	名称 路線名	計画決定			改良済 延長(m)	改良 率	概成済 延長 (km)
		幅員(m)	延長 (m)	決定 年月日			
1.3.2	京奈和自動車道	22(22~54)	2,500	S48.4.21	2,500	100.0%	0
3.2.1	国道 24 号 BP	20~52	2,500	S48.4.21	2,030	81.2%	0
3.4.5	奈良天理桜井線	12~25	9,430	S29.5.4	980	10.4%	8.45
3.4.52	天理・王寺線	16~29	4,660	S29.5.4	2,620	56.2%	0.81
3.3.400	中大路線	26	600	S29.5.4	600	100.0%	0
3.3.401	天理・橋線	24~37.5	6,740	S36.12.25	990	14.7%	0
3.3.403	天理郡山南側線	8~15	3,700	S43.9.26	3,200	86.5%	0
3.4.400	天理停車場線	12~20	2,310	S36.12.25	780	33.8%	0
3.4.401	田井庄公園線	16	145	S36.12.25	145	100.0%	0
3.4.402	別所・喜殿線	16~22	980	S36.12.25	0	0.0%	0
3.4.403	勾田・櫛本線	16~17	4,120	S43.9.26	2,000	48.5%	0
3.4.404	別所・丹波市線	16	3,680	S36.12.25	3,260	88.6%	0
3.4.405	停車場裏線	16	460	S39.2.18	460	100.0%	0
3.4.406	田・櫛本線	11~16	3,170	S29.5.4	3,170	100.0%	0
3.4.407	田部・別所線	16	740	S43.9.26	0	0.0%	0
3.4.408	守目堂線	16	700	S46.8.3	390	55.7%	0
3.4.409	三味田・横広線	12.5~22	2,040	S46.8.3	450	22.1%	1.50
3.4.410	北大路線	15~16	4,980	S36.12.25	4,650	93.4%	0
3.4.411	前裁線	16	1,180	S36.12.25	500	42.4%	0.35
3.4.412	前裁駅前線	16	200	S48.2.16	0	0.0%	0
3.4.413	二階堂駅前線	16	80	S48.2.16	0	0.0%	0
3.5.1	筒井二階堂線	12	280	H8.11.22	280	100.0%	0
3.5.400	豊田・公園線	15	450	S29.5.4	0	0.0%	0
3.5.401	布留・二階堂線	12~16	4,740	S36.12.25	1,280	27.0%	3.46
3.5.402	勾田線	12	730	S46.2.16	450	61.6%	0
3.5.403	豊井・福住線	12	580	S36.12.25	0	0.0%	0
3.5.404	木堂・萱生線	12~16	3,050	S29.3.31	3,050	100.0%	0
3.5.405	柳本停車場線	12	1,610	S36.12.25	0	0.0%	0
3.5.406	豊田・櫛本線	12~16	3,760	S29.5.4	2,570	68.4%	0
3.5.407	長柄線	12	700	S46.2.16	700	100.0%	0
3.5.409	上ノ庄線	13.5	810	S49.8.29	810	100.0%	0
3.5.410	荒蒔線	12	860	S49.8.29	0	0.0%	0
3.5.500	兜塚・山ノ辺線	12	180	S41.3.14	0	0.0%	0
3.6.46	櫛本停車場線	8	520	S36.12.25	0	0.0%	0
3.6.400	丹波市・田線	9	850	S36.12.25	520	61.2%	0
3.6.402	天理郡山北側線	8~14	3,780	S43.9.26	3,400	89.9%	0
1.4.3	大和北道路	22(22~54)	150	H20.3.18	0	0.0%	0
合計	—	—	77,965	—	41,785	53.6%	14.57

資料：天理市まちづくり計画課

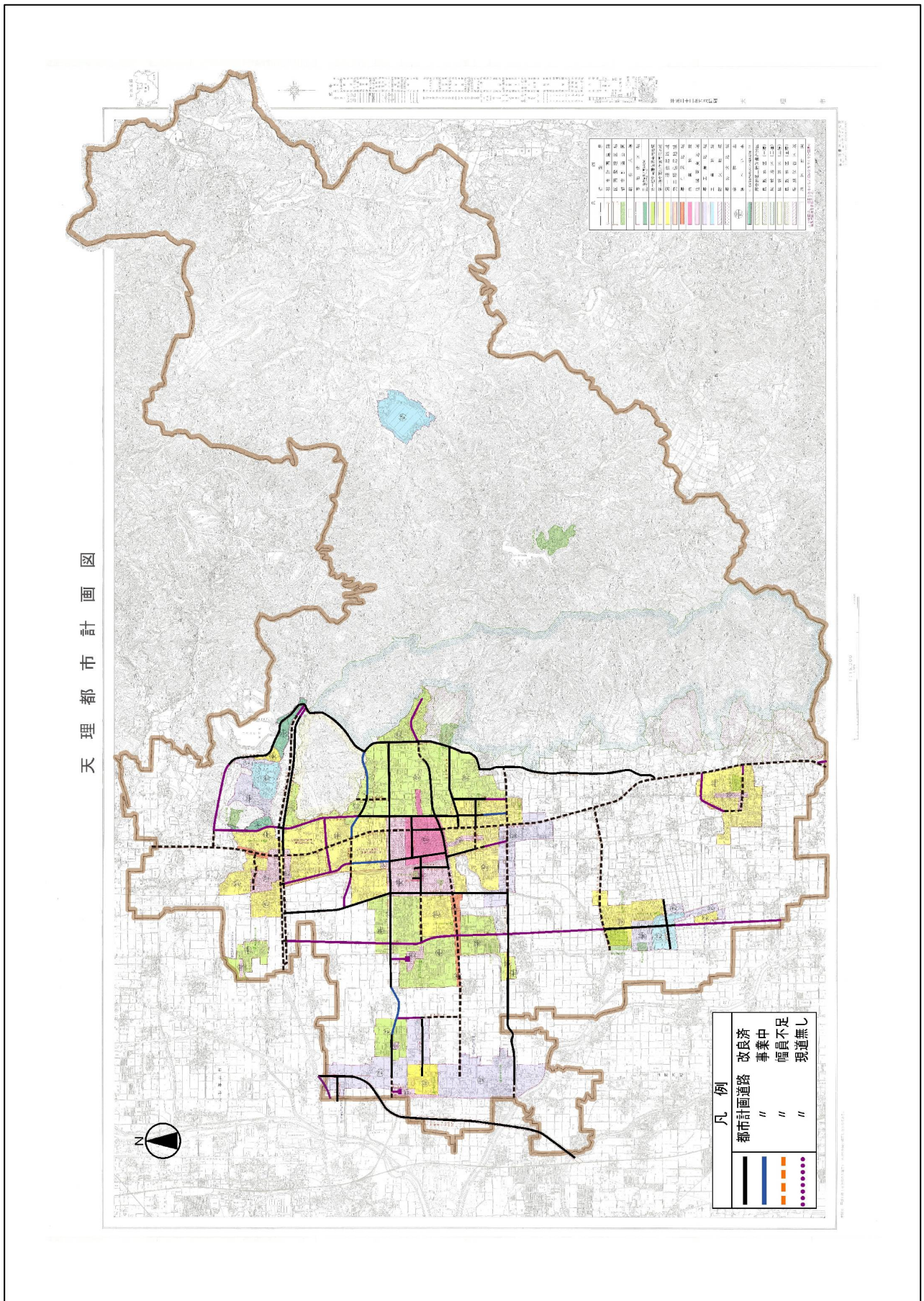


図 都市計画道路の整備状況

公園

本市の都市公園は、街区公園13箇所、近隣公園4箇所、地区公園1箇所、及び風致公園2箇所であり、すべての公園が供用しています。

表 都市公園

		街区公園	近隣公園	地区公園	総合公園	運動公園	風致公園	特殊公園	広域公園	計
供用	箇所数(力所)	13	4	1	—	—	2	—	—	20
	面積(ha)	2.14	7.90	7.84	—	—	16.63	—	—	34.51

資料：H23 年度末都市公園等整備現況調査

表 都市公園

種別	番号	公園名	供用面積(ha)	都市計画決定年月日
街区	2.2.4	田井庄街区公園	0.42	S43.10.2
街区	2.2.6	櫛本西部街区公園	0.12	S45.1.9
街区	2.2.5	和爾下街区公園	0.17	S45.1.9
街区	2.2.8	春日街区公園	0.09	S45.12.23
街区	2.2.7	勾田街区公園	0.09	S45.12.23
街区	2.2.9	杵築街区公園	0.13	S47.12.27
街区	2.2.10	砂原街区公園	0.1	S47.12.27
街区	2.2.26	富堂街区公園	0.09	S48.11.8
街区	2.2.28	嘉幡街区公園	0.1	S49.12.4
街区	2.2.66	長柄第一街区公園	0.33	S53.1.20
街区	※	長柄第二街区公園	0.27	S59.9.16
街区	2.2.137	御経野街区公園	0.1	H3.1.18
街区	2.2.145	石上街区公園	0.13	H6.11.7
近隣	3.3.11	田井庄池公園	0.97	S46.8.6
近隣	3.3.12	柳本公園	2.63	S48.8.26
近隣	3.3.23	馬田池公園	1.45	S49.11.22
近隣	3.3.37	櫛本高塚公園	2.85	S62.8.14
地区	4.4.9	長柄運動公園	7.84	S51.3.19
風致	7.4.3	神宮外苑公園	4.81	S46.8.6
風致	7.5.2	天理ダム風致公園	11.82	S54.12.14
合計	—	—	34.51	—

※長柄第二街区公園は都市計画決定がされておりません。そのため都市計画決定年月日は告示年月日を記載しております。

資料：H23 年度末都市公園等整備現況調査

駅前広場

表 駅前広場

駅名	鉄道名	駅前広場面積(m ²)		計画決定年月日	備考
		計画	供用		
天理駅	JR 桜井線 近鉄天理線	18,400	18,400	S39.2.18	
前栽駅	近鉄天理線	3,500		S48.2.16	
二階堂駅	近鉄天理線	3,500		S48.2.16	

資料：H22 都市計画現況調査

自転車等駐車場

表 自転車等駐車場

名 称	面積(ha)		台数(台)		備 考
	計画	併用	計画台数	収容台数	
天理駅前南地下	0.26	0.26	1,600	1,600	地下1層自走式
天理駅前北地下	0.22	0.22	1,200	1,200	地下1層自走式

資料：H22 都市計画現況調査

下水道

表 公共下水道などの整備状況（污水）

事業認可 区域 (ha)	行政人口 (住民基本 台帳人口) (A) (人)	処理区域 内人口 (B) (人)	水洗化 人口(C) (人)	人口 普及率 (B)/(A) (%)	処理区域内 水洗化率 (C)/(B) (%)	下水管路 延長 (km)	排水量 (m ³)	下水道 整備率 (%)
1,882.3	67,039	64,840	58,565	96.7	90.3	376.0	8,578,704.0	99.4

資料：天理市上下水道局(H23 年度)

注 1) 普及率：処理区域内人口/行政人口(住民基本台帳人口)

注 2) 水洗化率：水洗化人口/処理区域内人口

注 3) 下水道整備率：(公共下水+農業集落排水+合併処理浄化槽) 処理区域内人口/行政人口(住民基本台帳人口)
平成 23 年 6 月 1 日供用開始の農業集落排水「苅原・仁興地区」を含む

表 公共下水道と都市下水路の整備状況（雨水）

	公共下水道					都市下水路	
	排水区域 (ha)	処理区域 (ha)	下水管渠 (m)	ポンプ場		排水区域 (ha)	下水管渠 (m)
				箇所数 (カ所)	面積 (m ²)		
全体計画	1,953	1,953	397,775	1	2,690	263	2,500

資料：H22 都市計画現況調査

処理施設

表 処理施設

名 称	面積 (ha)	処理能力 (t/日)	決定年月日	備 考
天理市環境クリーンセンター焼却施設	1.2	220	55.11.26	供用済

資料：天理市まちづくり計画課

c. 市街地開発事業

土地区画整理事業

表 土地区画整理事業

地区名	事業主体	施行面積 (ha)	都市計画 決定 年月日	事業認可 公告日	換地処分 公告日	施行期間	備 考
山の辺 第一工区	市	63.4	S43.5.4 S60.4.23	S45.3.6	—	S44～H30	換地処分 未完了地区
丹波市町 第1丹波市	組合	27.2	—	S11.8.15	S24.8.19	S11～S24	
丹波市町 第2丹波市	組合	6.9	—	S11.3.25	S35.4.8	S10～S35	
長柄	組合	67.7	S46.7.30	S47.4.25	S57.10.22	S47～S58	
天理駅前	市	53.6	S35.4.18 S47.5.10	S37.1.5	S60.9.13	S36～S60	
勾田	市町村	0.0	S47.8.11	S48.12.12	—		H14.7.12 に 区域を0に 変更
岩室農住	農住 組合	0.9	—	H19～H22	H20.2.29	H19～H22	促進区域 計画決定 H19.4.3

資料：奈良県都市計画マスタープラン

②主な土地利用規制

主な土地利用規制は、市街化区域及び市街化調整区域、用途地域などのほか、宅地造成工事規制区域、農用地区域、保安林、史跡などの法規制が指定されています。



II 都市づくりの課題

上位計画での位置づけ、本市の概況、市民意向等の整理結果をもとに、都市づくりの課題を整理します。

(1) 主要課題の整理

天理市第5次総合計画では、「未来を創造するまち」を実現していくことが位置づけられており、都市計画マスタープランにおいても、過去から受け継いだまちの良いところは次世代に引き継ぎ、改善すべきところは、次世代に先送りすることなく対応することによって、未来に引き継ぐまちづくりを展開する必要があります。また、本市は、市民の生活の舞台である「まち」・「さと」、悠久の「歴史」を守る場所並びに豊かな自然環境を持つ「高原のさと」に明確に分かれており、それぞれが『天理市』の個性と魅力を創り出しています。

したがって、「まち」と「さと」、「歴史」、「高原のさと」のそれぞれについて、未来に引き継ぐためのまちづくりが必要です。

みらいに引き継ぐ「まち」と「さと」

本市の市街地は、駅を中心に点在して形成され、それぞれに生活圏を構成していることが大きな特徴ですが、中心性が分散して生活利便性が低くなる可能性があります。したがって、点在する市街地の一体性を確保するために、交通アクセスの利便性を高める必要があります。また、周辺の農地とともに、それぞれの生活環境を育てていくことも必要です。

これらにより、将来、急速に進行すると予想される高齢化の中で、便利で気持ちよく生活できる「まち」と「さと」を創っていくことが求められます。

みらいに引き継ぐ「歴史」

山の辺の道とその周辺に残る古墳群や社寺は、本市の個性と魅力の源泉であるとともに我が国の貴重な歴史文化資源であり、将来に着実に引き継いでいくことは本市の責務であるといえます。

また、これらの資源を地域振興・活性化のために積極的に活用していく必要があります。

したがって、これらの資源と中心市街地が比較的近距離にある特性を活かして、観光交流の促進と中心市街地への交流人口の受入れ促進を図ることが求められます。

みらいに引き継ぐ「高原のさと」

本市の東半分を占める豊かな自然環境は、将来にわたって環境を保全していく必要があります。また、豊かな自然環境を地域振興のために積極的に活用していくことも重要です。

したがって、レクリエーションや体験学習、環境ビジネス等の場として、「高原のさと」を活用していくことが求められます。



(2)項目別課題の整理

項 目	現状の特徴・問題点	上位・関連計画の整理	住民意向等	都市づくりの課題
(1)都市の位置づけ	○核型都市であり、生活圏の中心都市としての役割を持っています。 ○人口は減少傾向です。核家族化が顕著です。 ○高齢化の急速な進行が懸念されます。 ○日本の古代国家発祥の地域です。	○みんなでつくる活力あるまち ○宗教文化都市 ○生涯いきいき暮らせるまち	○交通事故や犯罪のない安全性の高いまちが望まれています。 ○通勤・通学など交通の便のよいまちが望まれています。	◆流入人口(通勤・通学流入者数)の多さを活かした生活サービス拠点性の向上 ◆宗教や歴史・文化を活かした交流拠点性の向上 ◆人にやさしい都市づくりの推進
(2)土地利用	○市街地の低密度化が進みつつあります。 ○市街地の一体性が低い状況です。 (徒歩生活圏が点在しています。) ○商店街の衰退が著しい状況です。 ○工業が低迷しています。	○開発計画に基づく計画的な市街地形成 ○公営住宅のストック改善(バリアフリー化、耐震化など) ○天理駅周辺及び幹線道路沿いの商業集積促進 ○工場適地の選定	○住宅・住環境に対する満足度は比較的高い状況です。 ○日常の買物ができる身近な商店が望まれています。 ○工業地の緑化と地場産業の振興・創出が望まれています。	◆現在の住環境の維持・向上と計画的な市街地形成 ◆安全で安心できる人にやさしい住環境の形成 ◆市街地の一体性の向上と近隣商業機能の充実(幹線道路沿道商業施設の立地促進と活用) ◆商店街の再生・活性化 ◆工業地の環境向上と特色のある産業振興
(3)都市施設整備及び市街地整備	○都市計画道路等による十分なネットワークが形成されていません。 ○天理駅、長柄駅以外の駅前広場は未整備です。 ○都市公園はすべて供用されています。	○都市計画道路の見直しと整備推進 ○市道改良・整備の推進 ○駅前広場等の計画的整備 ○老朽化した公園等の整備・更新 ○河川改修事業の推進 ○社会経済情勢を考慮した市街地整備事業の精査・見直し	○身近な生活道路の整備が望まれています。 ○電車やバスなどの公共交通の充実が望まれています。 ○災害時に避難できる公園の整備が望まれています。	◆市街地の連携と防災性を考慮した都市計画道路の見直しと整備推進 ◆公共交通及び駅前広場の利便性向上 ◆防災面を考慮した公園の整備・更新 ◆河川改修事業の推進 ◆土地区画整理事業の適切な見直しと推進
(4)自然環境及び景観形成	○風致地区及び歴史的風土特別保存地区により、歴史資源の保全が図られています。 ○市東部は豊かな森林が広がっています。 ○市街地内に水路とため池が多い状況です。 ○耕作放棄地が増加しています。	○天理市固有の良好な歴史的・自然的景観の保全 ○森林機能の保全 ○農業生産環境の整備と新しい農業の取り組み	○自然環境を活かした観光・レクリエーションが望まれています。 ○田園風景や周辺の山並みと調和が図られた景観づくりが望まれています。 ○耕作放棄地の解消が望まれています。 ○森林は出来るだけ保全することが望まれています。	◆歴史的景観の保全・活用 ◆市東部の森林の保全・活用 ◆河川・ため池などを活用した市街地内の自然環境の創出 ◆農地の有効利用の促進 ◆『天理市』らしい景観形成 ◆商業地等の景観形成
(5)防災まちづくり	○地震・洪水による被害が想定されます。 ○第 1 次緊急輸送道路に未改良区間が多い状況です。 ○主要な公共施設の耐震化が完了していません。	○既成市街地での防災性の向上 ○総合治水対策事業、砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業の促進 ○学校等の公共建築物の耐震化促進 ○上水道施設の耐震化促進	○災害時に避難できる公園の整備が望まれています。【再掲】	◆公共施設の耐震化の推進 ◆避難輸送路の適切な確保 ◆総合治水対策事業、砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業の促進
(6)その他	○観光入込み客数の推移は横ばいです。	○山の辺の道をはじめとした観光資源の活用と商業振興との連携 ○地球温暖化対策事業の推進	○自然環境を活かした観光・レクリエーションが望まれています。	◆体験型観光などの創出と農林業及び商業との連携 ◆中心商業地(商店街)の魅力化 ◆環境にやさしい都市づくりの推進

